

第4回西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議 会議録（ダイジェスト版）

令和3年3月26日、西脇市民会館（中ホール）において、「第4回西脇市立学校学習環境規模適正化検討会議」を開催しました。

会議では、第3回検討会議の意見整理、「学校から見た家庭・地域との連携・協働」をテーマとした学校からの報告、「地域とともにある学校づくり」に関する理解を深めた後、委員がグループに分かれて、「学校・家庭・地域の連携・協働」をテーマに意見交換を行いました。

第3回検討会議の意見整理

と き : 令和2年11月20日
と ころ : 市民会館（中ホール）

第3回検討会議では、新たな教育推進に必要な「適正な学習環境」について、委員から様々な意見が出されました。

その意見を次のとおり整理し、今後の協議に反映していくことを確認しました。



1

「適正な学習環境」を整えるための基本的な考え方について

～委員からの意見～

- 子どもの学びの質を確保すること（子どもにとって何が大きかを優先すること）
… どういう教育を行いたいのか、どういふ子どもを育てたいかという価値を重視
学習環境を整える際、譲れるところ・譲れないところを精査する
子どもにとって望ましい集団規模を最優先する
- 子どもの人数減少という課題は、どの地域にも共通する課題であること
… 市全体を俯瞰し、将来を展望した答申をめざす
「地元地区」という観点から離れ、教育的ニーズや理想からの検討が大切 等

2

「学習・生活集団規模」と「教育効果」について

～委員からの意見～

- 学級規模（人数）を小さくすることだけでは、全ての教育効果は上がらない
… 学級規模に応じた指導の工夫・改善に努めることが重要
- 極端に子ども人数が減少すると、デメリットが拡大
… 「子ども人数減」・・・「学級数減」・・・「教員数減」・・・デメリット拡大
生じるデメリット・問題点を直視すること 等

3

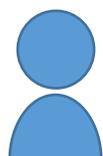
「学級・学校規模」について

～委員からの意見～

- 教科担任制（小学校高学年）の効果的推進には、学年2学級以上の規模や教員数確保が必要
… 教員の専門性発揮、教員の授業準備、多様な指導。評価、教員の負担軽減
- 1学級15人から25人程度（20人前後）で、学年複数学級
… 国：小学校全学年で35人学級導入（2021年度より段階的に）
- 教職員の負担が偏ってしまうような学校規模は、適正ではない
… 職務に関する研鑽が積める指導体制確保（教職員の質の向上）
新しい「学校の在り方」・「学校の担う役割」の構築 等

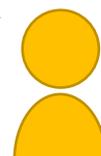
ワークショップでの意見

- テーマ：① 家庭から見た、家庭と学校との適切な連携について
(学校の役割・家庭の役割)
- ② 地域から見た、地域と学校との適切な連携について
(学校運営・学習・生活指導・資質向上・安全 等)

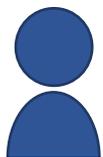


もっと、学校とコミュニケーションを取っていききたい。先生と家庭、親と子供の間であっても同じ。学校だよりや学級通信等の紙媒体も役になっている。双方向のコミュニケーションを補うものとして、タブレット等の活用への期待もあります。

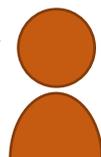
保護者と先生とのコミュニケーションを十分取っていききたい。学校で教えていただいていることを家庭でも理解し、何でも学校任せにしないようにしたい。道徳や集団の中でのマナー、学校での子どもの学習や生活態度についても、学校と共通認識を持って、家庭でも指導していききたい。



P T A 活動を通して、学校での子どもの様子や学校の対応も勉強になりました。保護者として、学校との関わりをしっかり持つことは、大変重要だと思います。



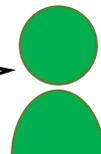
子どもの宿題(家庭学習)やゲーム、スマホについて、学校任せにしているか、親として無頓着になりすぎていないかを、振り返る必要があるのでは。学校がスマホのルールを決めないといけなくなっていることは、家庭として情けない話だと感じています。



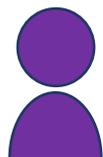
地域には地域の事情もあります。色々なことが決まりましたが、協力いただける方を取りまとめる地域としても大変な思いをする。学校と気兼ねなく話ができ情報交換ができる拠点があれば・・・。



学校と家庭の連携や、学校と地域の連携において大事なことは、何のためにやるのかということです。



地域・保護者・学校教職員の3つの立場の意見が一致するとはあまり思わない方がいいのでは。大事なことは、普段のコミュニケーション。学校にくるクレームは、コミュニケーション不足から起こるケースも多いです。日常的に3者が思いのやりとりができる環境づくりが大切では。学校と地域とのスムーズな連携に必要なことは「楽しさ」。やることに自体に「楽しみ」を見出すことが大切。



…その他、貴重な意見がたくさん出されました。